

## 平成26年度第1回 福岡市立学校給食運営検討委員会 議事録

### 1 開催概況

- (1) 日 時：平成26年7月24日（木） 10:00～12:00
- (2) 場 所：福岡市役所15階1503会議室
- (3) 出席委員：今井克己委員長，簗田輝副委員長  
梅田晴子委員，古賀伸彦委員，藤野二郎委員，  
坂田美和子委員，木原千鶴香委員，久光謙治委員，  
松下誠委員，池田淳委員，羽広志信委員，  
落合さゆみ委員，江島美智代委員，新川香織委員，  
泊孝子委員，堤晃司委員，中村浩三委員，  
中村加代子委員，金子佳史委員，角健太郎委員  
（以上20名）
- (4) 事務局：3名

## 2 議事録（要旨）

### (1) 開会行事

新委員初回であり，委員互選により，委員長及び副委員長の選出を行った。

委員長に今井克己委員，副委員長に簗田輝委員を選出した。

### (2) 議 題：平成27年度福岡市学校給食費について

ア 配布資料に基づいて事務局から説明があった。

イ 事務局の説明に対し，以下のような質問・意見が表明され，事務局から回答や発言があった。

Q 北九州市の改定状況について本年度から改定ということだが，それ以前はどのような状況だったのか。

A 北九州市は，改定前は小学校の月額が3500円で10年以上改定を行っていない状況であった。

Q 札幌市などの小学校の学年別区分の設定について，単価が異なっていて月額が同じなのか。

A いくつかの自治体では，学年ごとに給食費を区分して設定している状況である。札幌市では，最終月の金額が学年により異なって調整している。

Q 小学校について学年を基準とした区分の設定について，福岡市は考えていないのか。

A 小学校について学年を基準とした区分の設定については，今後へのご意見として頂戴したい。

Q 過去の給食費改定では，小学校と中学校で金額の上げ幅が異なっている理由は。

A 過去の小中学校の上げ幅の差は，摂取栄養量の違いによるもので，必要量が多い分，中学校では，上げ幅が大きくなっていったものである。

Q 新給食センターの加工食等のコストの対応も含んでいるのか。

A 新給食センターの加工食との対応にかかるコストについては，給食費に含んでいない。給食費は食材料費のみで，対応できるように設定している。

Q (資料1) 小学校と中学校の実施価格が同じなのはなぜか(小学校・中学校ともに452円)。小学校と中学校と実施価格が同じになるように調整しているのか。

A 小学校と中学校の実施価格が同額なのは、予算を積み上げた結果で、たまたまこの提示した年が同額となったもの。他の年度は異なっている。

Q 小学校の委託調理は、公費負担軽減を目的としたものか。

A 小学校の委託調理についてはお見込のとおり、公費負担軽減を図っているものである。

ウ 今後の予定につき、事務局から示された内容は次の通り。

- ・ 来年度の給食費をどうすべきか、という点について、次回の委員会で、より精査した価格動向などのデータ等を整理したうえで提示する。